

6. 必修項目

A 経験すべき診察法・検査・手技の必修項目(39項目)	経験 (○)	診療科
3. 基本的な臨床検査（以下の検査について経験があること） 「経験」とは受け持ち患者の検査として診療に活用すること (A)の検査で自ら実施する部分については受け持ち症例でなくてもよい		
1) 一般尿検査(尿沈渣顕微鏡検査を含む)		
2) 便検査(潜血、虫卵)		
3) 血算・白血球分画		
4) 血液型判定・交差適合試験(A)		
5) 心電図(12誘導)(A)		
6) 動脈血ガス分析(A)		
7) 血液生化学的検査 ・簡易検査(血糖、電解質、尿素窒素 など)		
8) 血液免疫血清学的検査 (免疫細胞検査、アレルギー検査を含む)		
9) 細菌学的検査・薬剤感受性検査 ・検体の採取(痰、尿、血液など) ・簡単な細菌学的検査(グラム染色など)		
10) 肺機能検査 ・スパイロメトリー		
11) 髄液検査		
13) 内視鏡検査		
14) 超音波検査(A)		
15) 単純X線検査		
17) X線CT検査		

6. 必修項目

A 経験すべき診察法・検査・手技の必修項目(39項目)		経験 (○)	診療科
4. 基本的手技（以下の手技を自ら行った経験があること 技量は問わない）(18項目)			
1) 気道確保			
2) 人工呼吸（バックマスクによる徒手換気を含む）			
3) 心マッサージ			
4) 圧迫止血法			
5) 包帯法			
6) 注射法（皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保）			
7) 採血法（静脈血、動脈血）			
8) 穿刺法（腰椎）			
10) 導尿法			
11) ドレーン・チューブ類の管理			
12) 胃管の挿入と管理			
13) 局所麻酔法			
14) 創部消毒とガーゼ交換			
15) 簡単な切開・排膿			
16) 皮膚縫合法			
17) 軽度の外傷・熱傷			
18) 気管挿管			
19) 除細動			

6. 必修項目

A 経験すべき診察法・検査・手技の必修項目(39項目)	経験 (○)	レポート 提出(○)	診療科
6. 医療記録（以下を自ら行った経験があること）(6項目)			
1) 診療録の作成			
2) 処方箋・指示書の作成			
3) 診断書の作成			
3) 死亡診断書の作成			
4) CPCLレポートの作成, 症例呈示			
5) 紹介状, 返信の作成			

6. 必修項目

B 経験すべき症状・病態・疾患(80項目)	経験 (○)	レポート 提出(○)	診療科
1. 頻度の高い症状(以下の症状を経験し, レポートを作成する)(20項目) 「経験」とは, 自ら診療し, 鑑別診断を行うこと			
2) 不眠			
5) 浮腫			
6) リンパ節腫脹			
7) 発疹			
9) 発熱			
10) 頭痛			
11) めまい			
14) 視力障害、視野狭窄			
15) 結膜の充血			
19) 胸痛			
20) 動悸			
21) 呼吸困難			
22) 咳・痰			
23) 嘔気・嘔吐			
26) 腹痛			
27) 便通異常(下痢、便秘)			
28) 腰痛			
31) 四肢のしびれ			
32) 血尿			
33) 排尿障害(尿失禁・排尿困難)			

6. 必修項目

B 経験すべき症状・病態・疾患(80項目)	経験 (○)	診療科
2. 緊急を要する症状・病態(以下の病態を経験すること)(11) 「経験」とは、初期治療に参加すること		
1) 心肺停止		
2) ショック		
3) 意識障害		
4) 脳血管障害		
6) 急性心不全		
7) 急性冠症候群		
8) 急性腹症		
9) 急性消化管出血		
13) 外傷		
14) 急性中毒		
16) 熱傷		

6. 必修項目

B 経験すべき症状・病態・疾患(80項目)		経験 (○)	レポート 提出(○)
3. 経験が求められる疾患・病態(外科=1, A=10, B=38)			
(A) 疾患については入院患者を受け持ち, 診断, 検査, 治療方針について症例レポートを提出すること			
(B) 疾患については外来診療又は受け持ち入院患者(合併症を含む)で自ら経験すること			
外科症例(手術を含む)を1例以上受け持ち, 診断, 検査, 術後管理等について症例レポートを提出すること			
(1) 血液・造血器・リンパ網内系疾患			
① 貧血(鉄欠乏貧血、二次性貧血) (B)			
(2) 神経系疾患			
① 脳・脊髄血管障害(脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血) (A)			
(3) 皮膚系疾患			
① 湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎) (B)			
② 蕁麻疹 (B)			
④ 皮膚感染症 (B)			
(4) 運動器(筋骨格)系疾患			
① 骨折 (B)			
② 関節・靱帯の損傷及び障害 (B)			
③ 骨粗鬆症 (B)			
④ 脊柱障害(腰椎椎間板ヘルニア) (B)			
(5) 循環器系疾患			
① 心不全 (A)			
② 狭心症、心筋梗塞 (B)			
④ 不整脈(主要な頻脈性、徐脈性不整脈) (B)			
⑥ 動脈疾患(動脈硬化症、大動脈瘤) (B)			
⑧ 高血圧症(本態性、二次性高血圧症) (A)			
(6) 呼吸器系疾患			
① 呼吸不全 (B)			
② 呼吸器感染症(急性上気道炎、気管支炎、肺炎) (A)			
③ 閉塞性・拘束性肺疾患(気管支喘息、気管支拡張症) (B)			
(7) 消化器系疾患			
① 食道・胃・十二指腸疾患(食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎) (A)			
② 小腸・大腸疾患(イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻) (B)			
④ 肝疾患(ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害) (B)			
⑥ 横隔膜・腹壁・腹膜(腹膜炎、急性腹症、ヘルニア) (B)			
(8) 腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)疾患			
① 腎不全(急性・慢性腎不全、透析) (A)			

6. 必修項目

B 経験すべき症状・病態・疾患(80項目)		経験 (○)	レポート 提出(○)
3. 経験が求められる疾患・病態(外科=1, A=10, B=38)			
(A) 疾患については入院患者を受持ち, 診断, 検査, 治療方針について症例レポートを提出すること			
(B) 疾患については外来診療又は受け持ち入院患者(合併症を含む)で自ら経験すること			
④ 泌尿器科的腎・尿路疾患(尿路結石、尿路感染症) (B)			
(9) 妊娠分娩と生殖器疾患			
① 妊娠分娩(正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥) (B)			
③ 男性生殖器疾患(前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍) (B)			

6. 必修項目

B 経験すべき症状・病態・疾患(80項目)		経験 (○)	レポート 提出(○)
3. 経験が求められる疾患・病態(外科=1, A=10, B=38)			
(A) 疾患については入院患者を受持ち, 診断, 検査, 治療方針について症例レポートを提出すること			
(B) 疾患については外来診療又は受け持ち入院患者(合併症を含む)で自ら経験すること			
(10) 内分泌・栄養・代謝系疾患			
④ 糖代謝異常(糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖) (A)			
⑤ 高脂血症 (B)			
(11) 眼・視覚系疾患			
① 屈折異常(近視、遠視、乱視) (B)			
② 角結膜炎 (B)			
③ 白内障 (B)			
④ 緑内障 (B)			
(12) 耳鼻・咽喉・口腔系疾患			
① 中耳炎 (B)			
③ アレルギー性鼻炎 (B)			
(13) 精神・神経系疾患			
② 認知症(血管性認知症を含む) (A)			
④ 気分障害(うつ病、躁うつ病を含む) (A)			
⑤ 統合失調症(精神分裂病) (A)			
⑦ 身体表現性障害、ストレス関連障害 (B)			
(14) 感染症			
① ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎) (B)			
② 細菌感染症(ブドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌、クラミジア) (B)			
③ 結核 (B)			
(15) 免疫・アレルギー疾患			
② 慢性関節リウマチ (B)			
③ アレルギー疾患 (B)			
(16) 物理・化学的因子による疾患			
④ 熱傷 (B)			
(17) 小児疾患			
① 小児けいれん性疾患 (B)			
② 小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ) (B)			
④ 小児喘息 (B)			
(18) 加齢と老化			
① 高齢者の栄養摂取障害 (B)			
② 老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡) (B)			

6. 必修項目

[illegible]

6. 必修項目

診療科
と

6. 必修項目

[illegible]

6. 必修項目

C 特定の医療現場の経験(7項目)	経験 (○)	診療科
(1) 救急医療		
(2) 予防医療		
(3) 地域医療		
(4) 周産・小児・成育医療		
(5) 精神保健・医療		
(6) 緩和ケア、終末期医療		
(7) 地域保健		